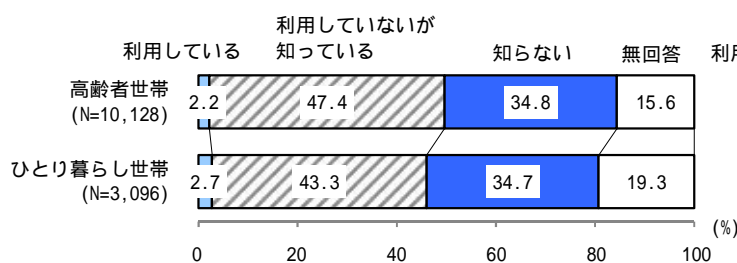


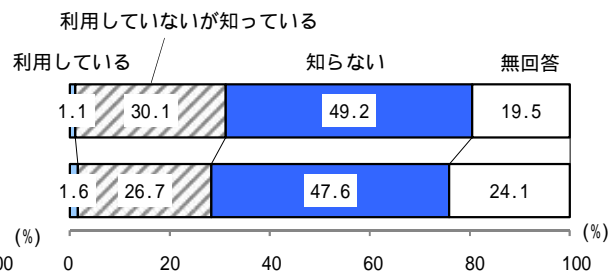
問14 在宅で提供される医療

【図14 在宅で提供される医療】

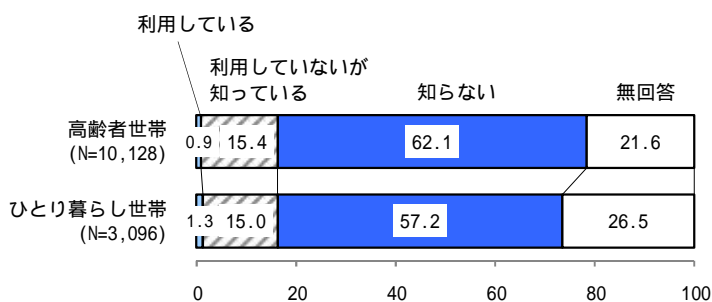
(1) 医師による訪問診療



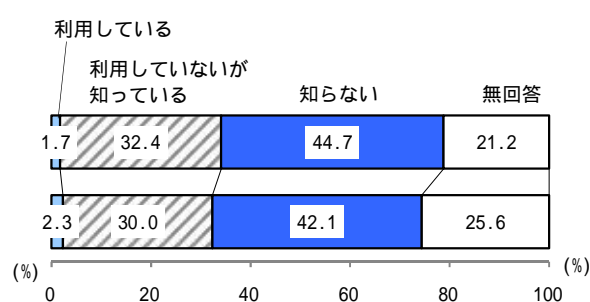
(2) 歯科医師による訪問歯科診療



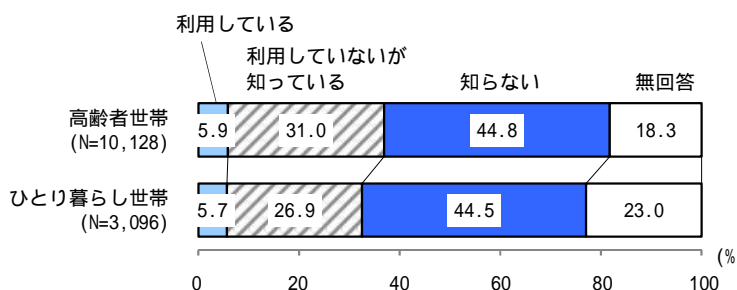
(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導



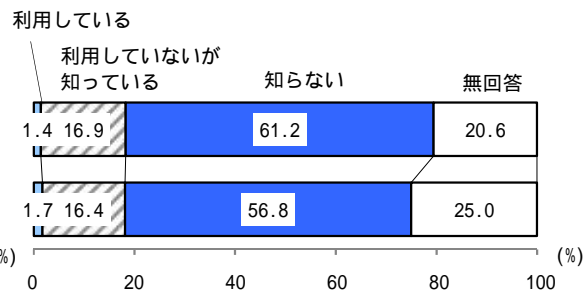
(4) 看護師などによる訪問看護



(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関



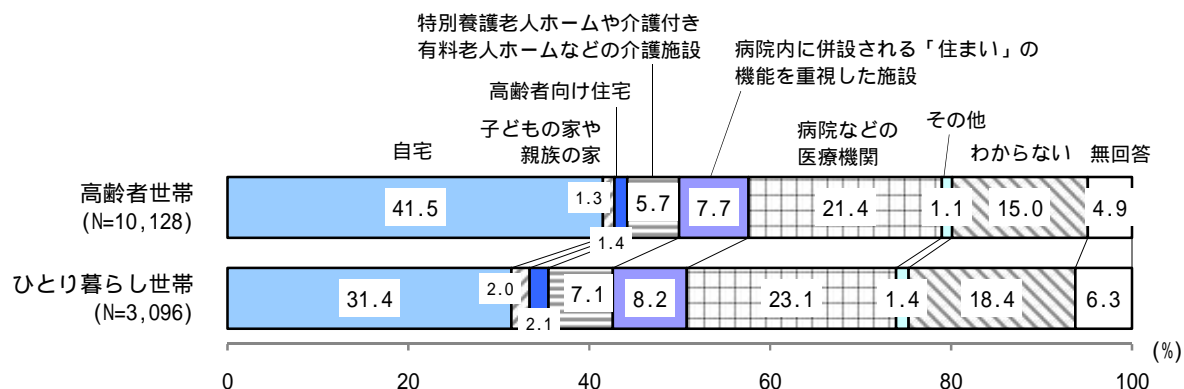
(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護



ひとり暮らし世帯の回答者の「在宅で提供される医療」については、いずれの項目も「利用していないが知っている」の回答割合が高齢者世帯全体より低くなっている。(図14)

問15 終末期に過ごしたい場所

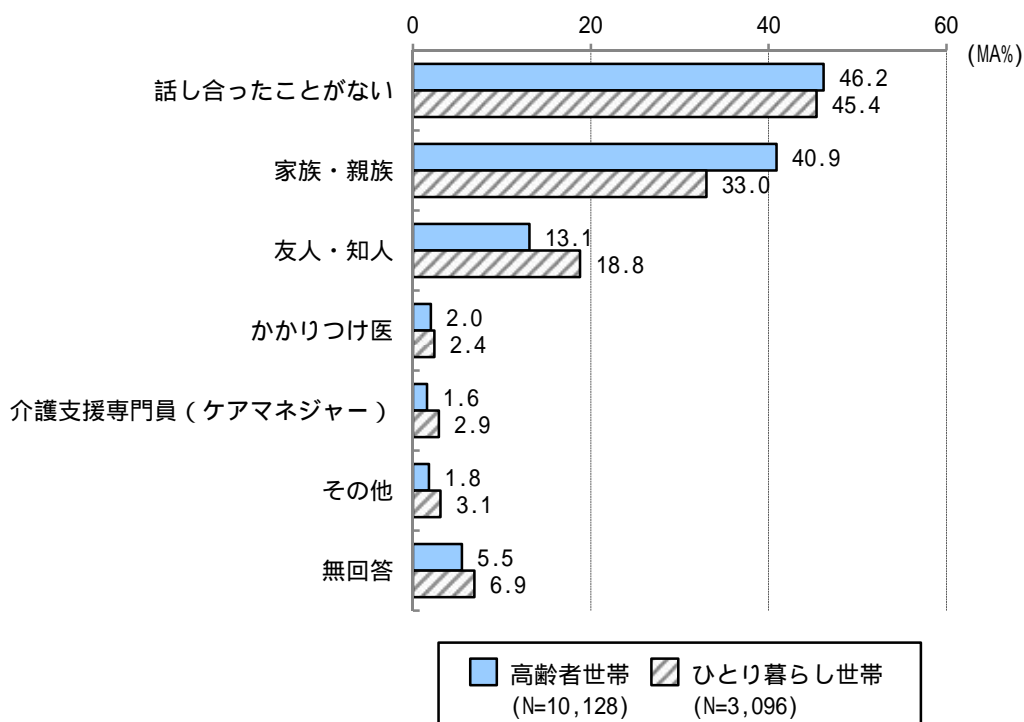
【図15 終末期に過ごしたい場所】



ひとり暮らし世帯の回答者の「終末期に過ごしたい場所」については、「自宅」が31.4%で最も多く、次いで「病院などの医療機関」となっているが、「自宅」の割合は高齢者世帯全体より1割低くなっている。(図15)

問16 終末期についての話し合いの有無

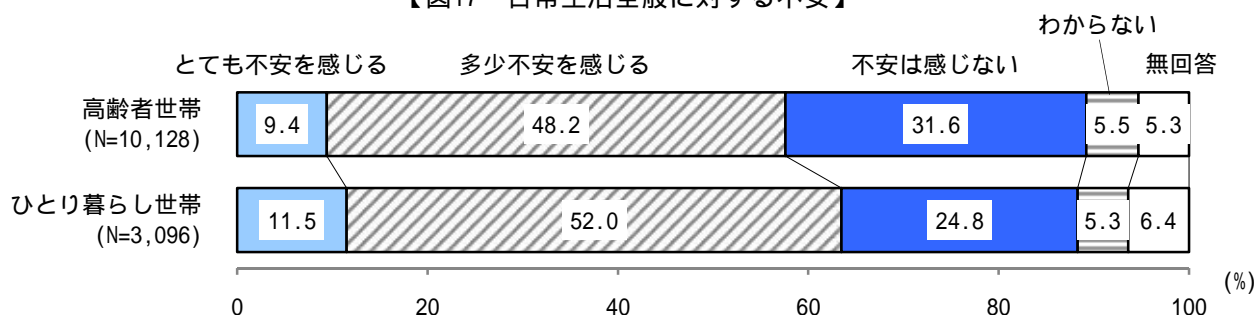
【図16 終末期についての話し合いの有無】



ひとり暮らし世帯の回答者の「終末期についての話し合いの有無」については、「話し合ったことがない」が45.4%で最も多く、次いで「家族・親族」が33.0%となっており、「友人・知人」が18.8%で高齢者世帯全体より5.7ポイント高くなっている。(図16)

問17 日常生活全般に対する不安

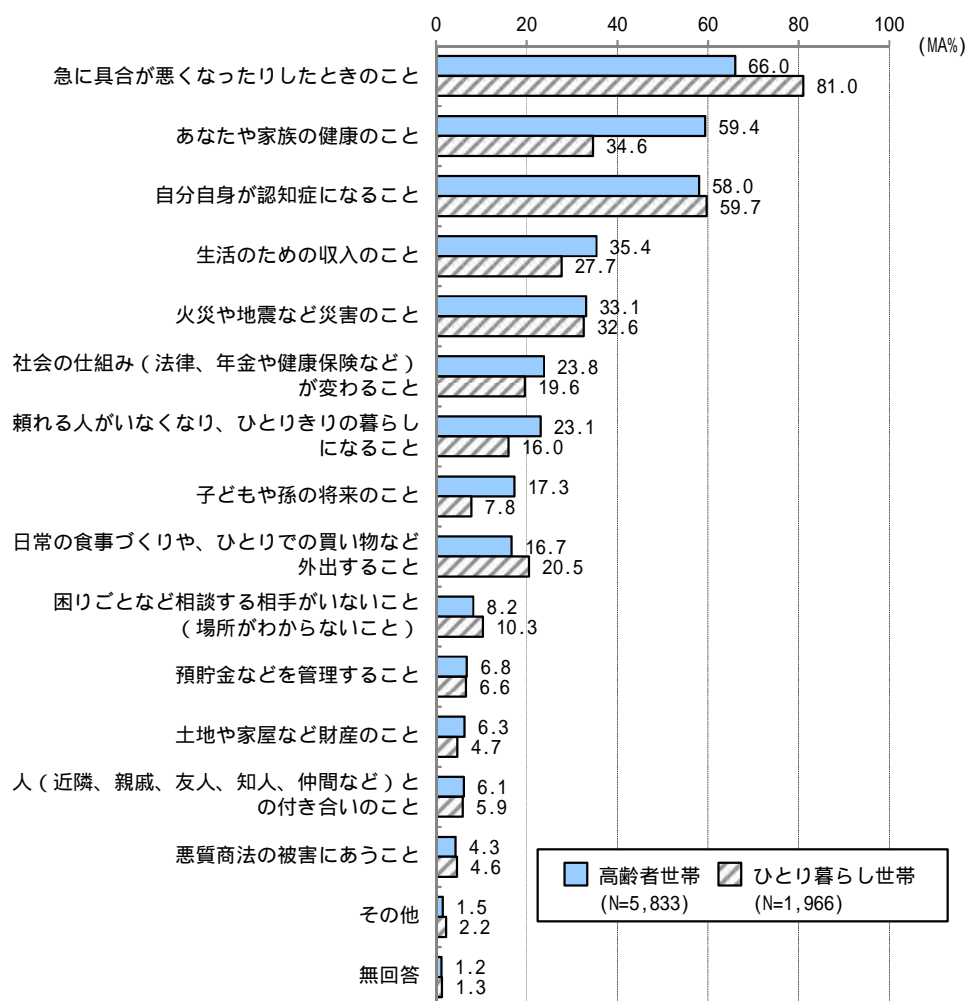
【図17 日常生活全般に対する不安】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活上不安を感じるか」については、高齢者世帯全体と比べると「とても不安を感じる」「多少不安を感じる」とも割合が多く、「不安は感じない」の割合が少なくなっており、ひとり暮らし世帯の方が、不安に感じるとの回答割合が高くなっている。(図17)

問17-1 不安に感じることの内容

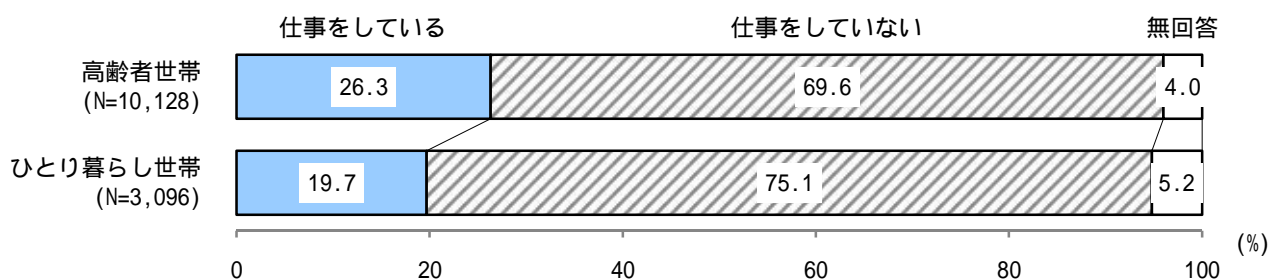
【図17-1 日常生活全般に対する不安】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活上不安に感じることの内容」については、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が最も多い回答であり、約8割の方が選択している。(図17-1)

問18 就労の状況

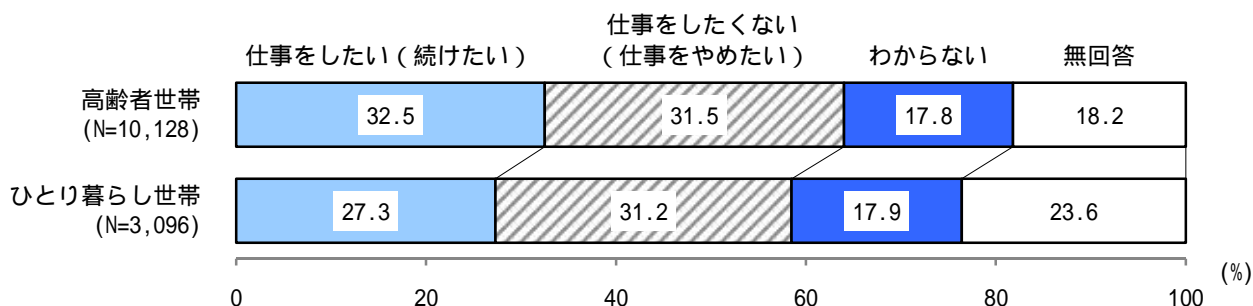
【図18 就労の状況】



ひとり暮らし世帯の回答者の「就労の状況」については、「仕事をしている」が19.7%、「仕事をしていない」が75.1%で、「仕事をしている」の回答割合は高齢者世帯全体より6.6ポイント低くなっている。(図18)

問19 今後仕事をしたいか(続けたいか)の意向

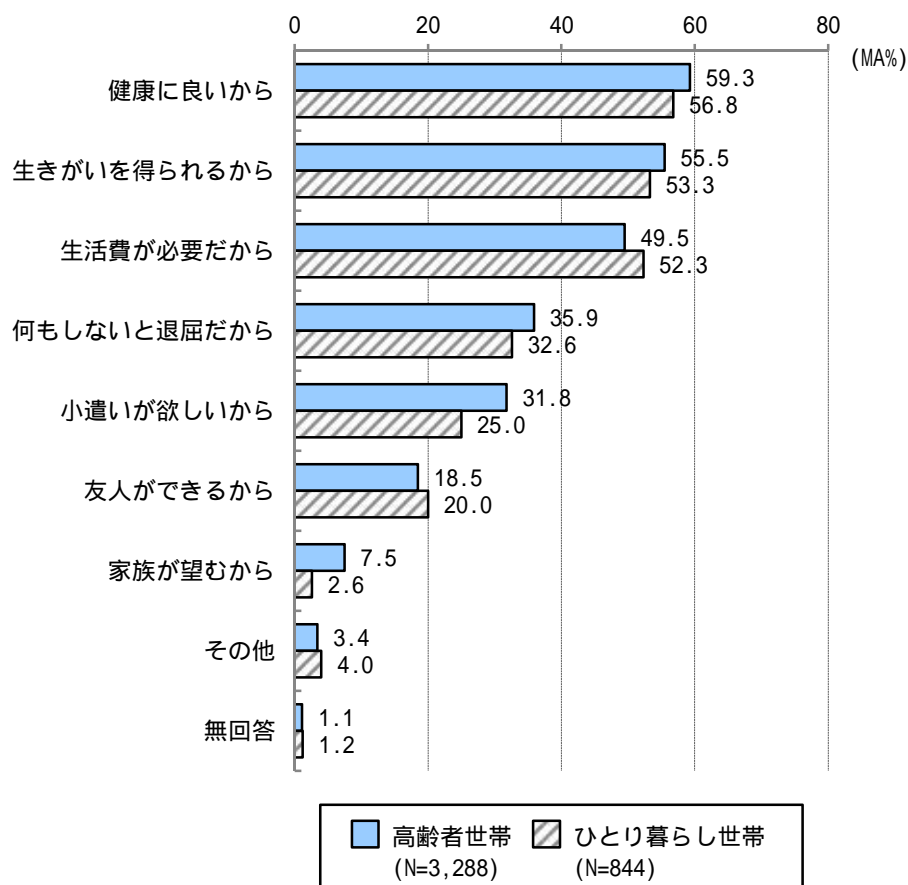
【図19 今後仕事をしたいか(続けたいか)の意向】



ひとり暮らし世帯の回答者の「今後の就労意向」については、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」が31.2%で最も多く、次いで「仕事をしたい(続けたい)」となっており、「仕事をしたい(続けたい)」は高齢者世帯全体より5.2ポイント低くなっている。(図19)

問19-1 仕事をしたい(続けたい)理由

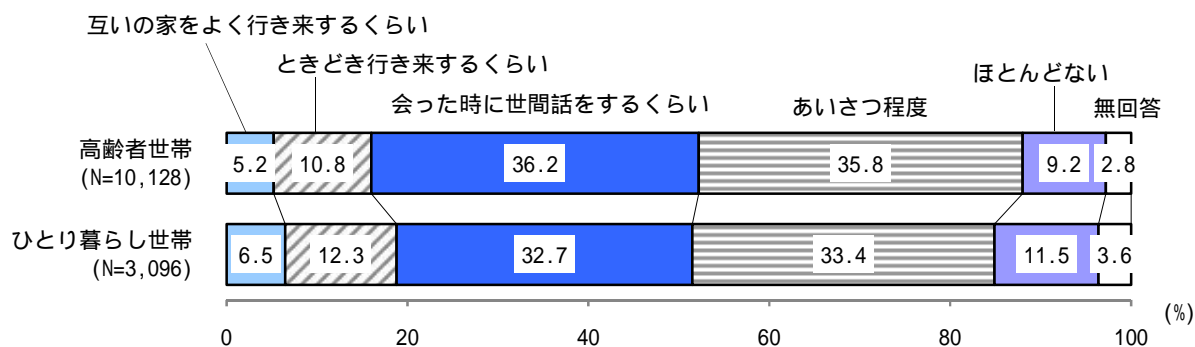
【図19-1 仕事をしたい(続けたい)理由】



ひとり暮らし世帯の回答者の「仕事をしたい(続けたい)理由」については、「健康に良いから」が56.8%で最も多く、次いで「生きがいを得られるから」が53.3%となっており、高齢者世帯全体と同様の傾向となっている。(図19-1)

問20 近所付き合いの程度

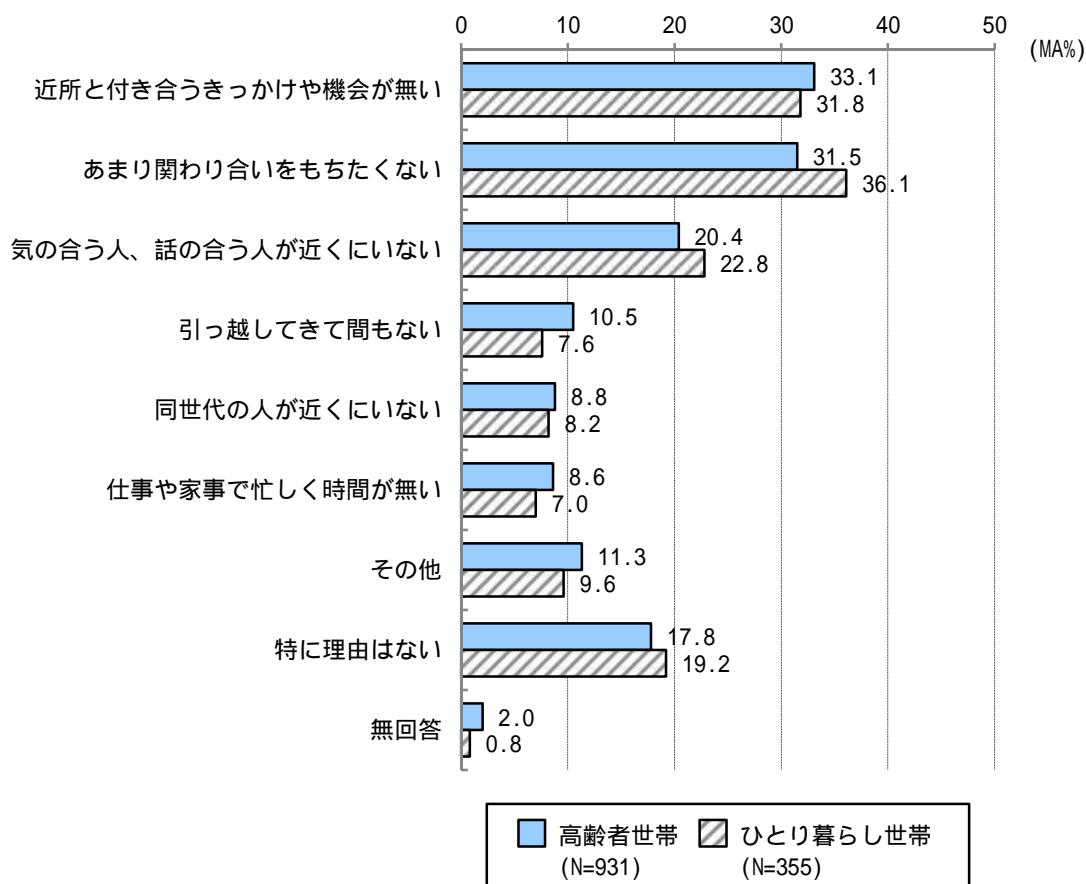
【図20 近所付き合いの程度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「近所付き合いの程度」については、「互いの家をよく行き来するくらい」と「ときどき行き来するくらい」をあわせた『近所の方と行き来のある人』については、高齢者世帯全体に比べて回答割合は高くなっている。(図20)

問20-1 近所付き合いがほとんどない理由

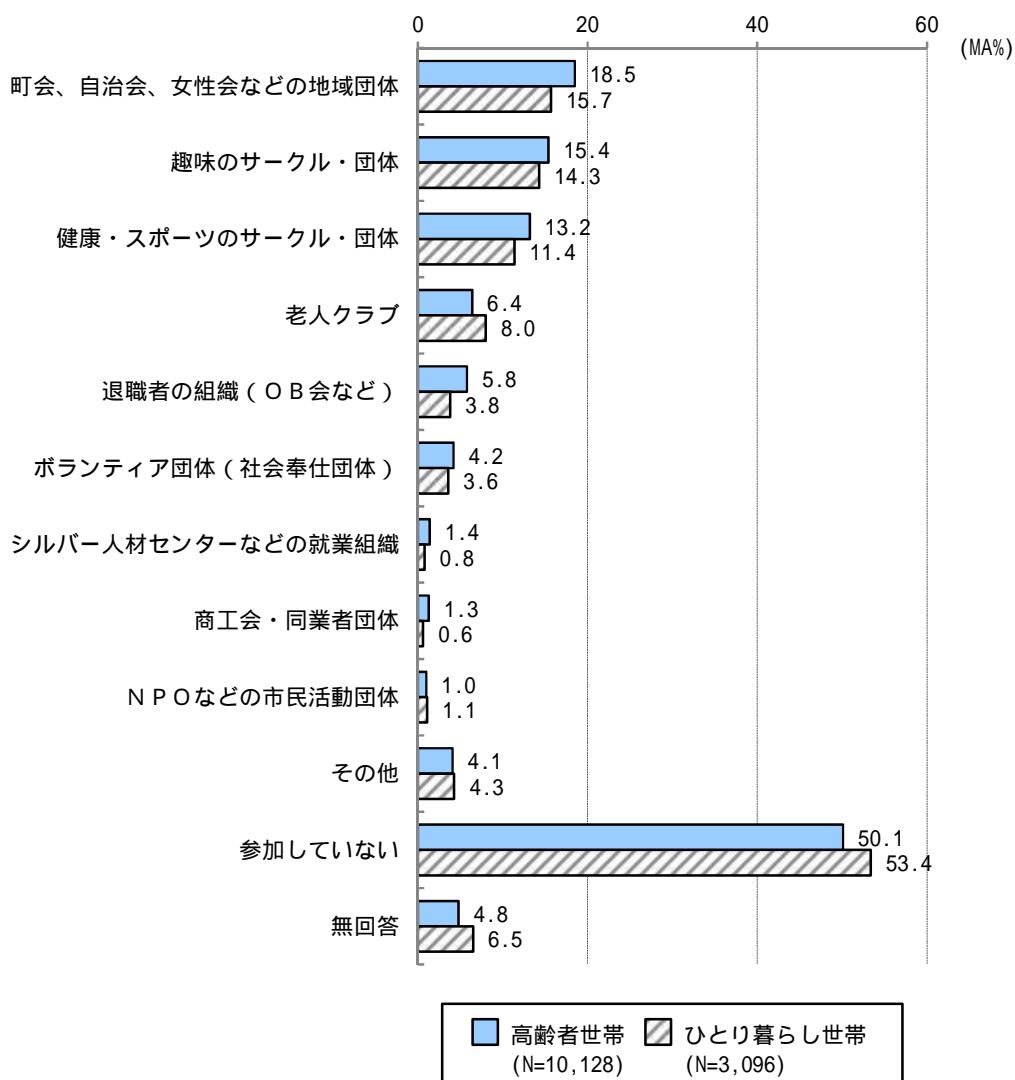
【図20-1 近所付き合いがほとんどない理由】



ひとり暮らし世帯の回答者の「近所付き合いがほとんどない理由」については、「あまり関わり合いをもちたくない」が最も多く、高齢者世帯全体よりもやや高い回答割合となっている。(図20-1)

問21 継続的に参加している団体や集まり

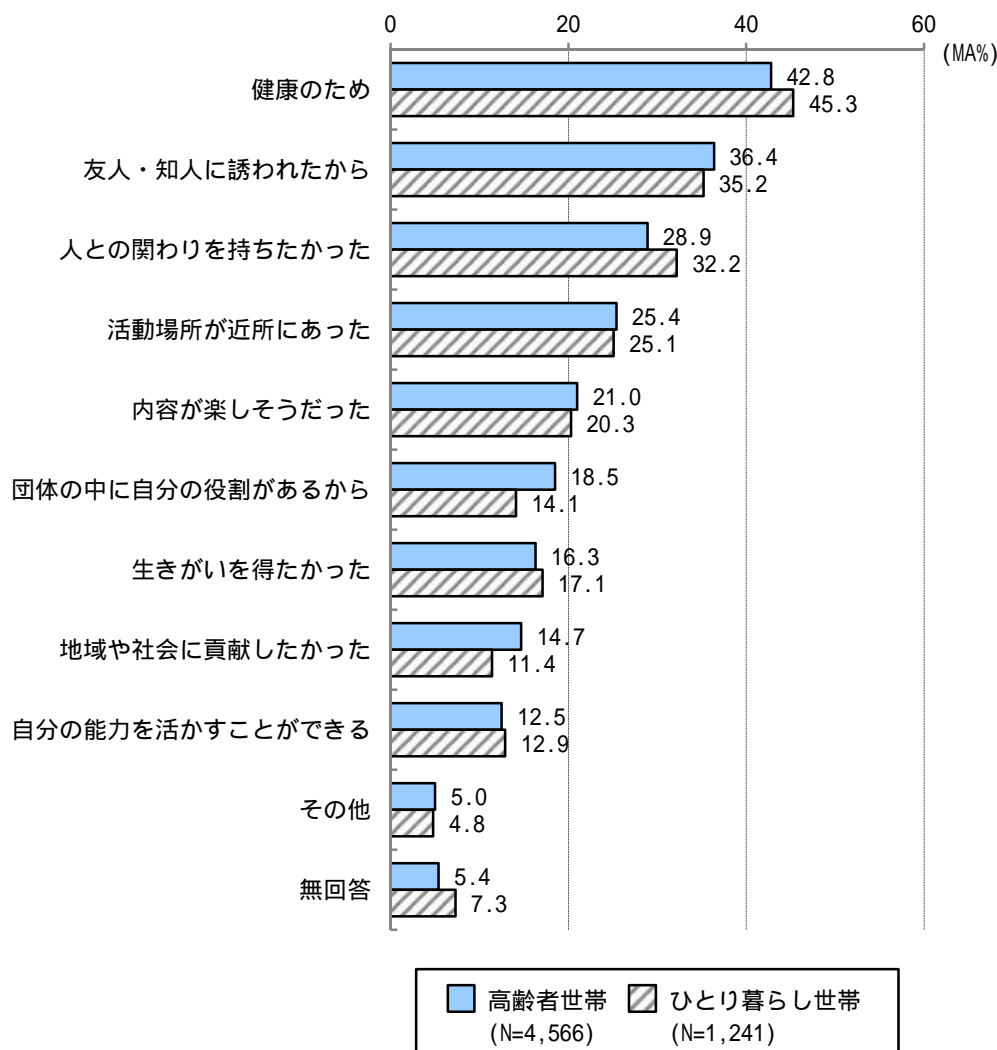
【図21 継続的に参加している団体や集まり】



ひとり暮らし世帯の回答者の「継続的に参加している団体や集まり」については、概ね高齢者世帯全体と同様の傾向となっており、ひとり暮らし世帯の方が回答割合は低くなっているが、「参加していない」の割合は、ひとり暮らし世帯の方が高齢者世帯よりもやや高い割合となっている。（図21）

問21-1 参加のきっかけ

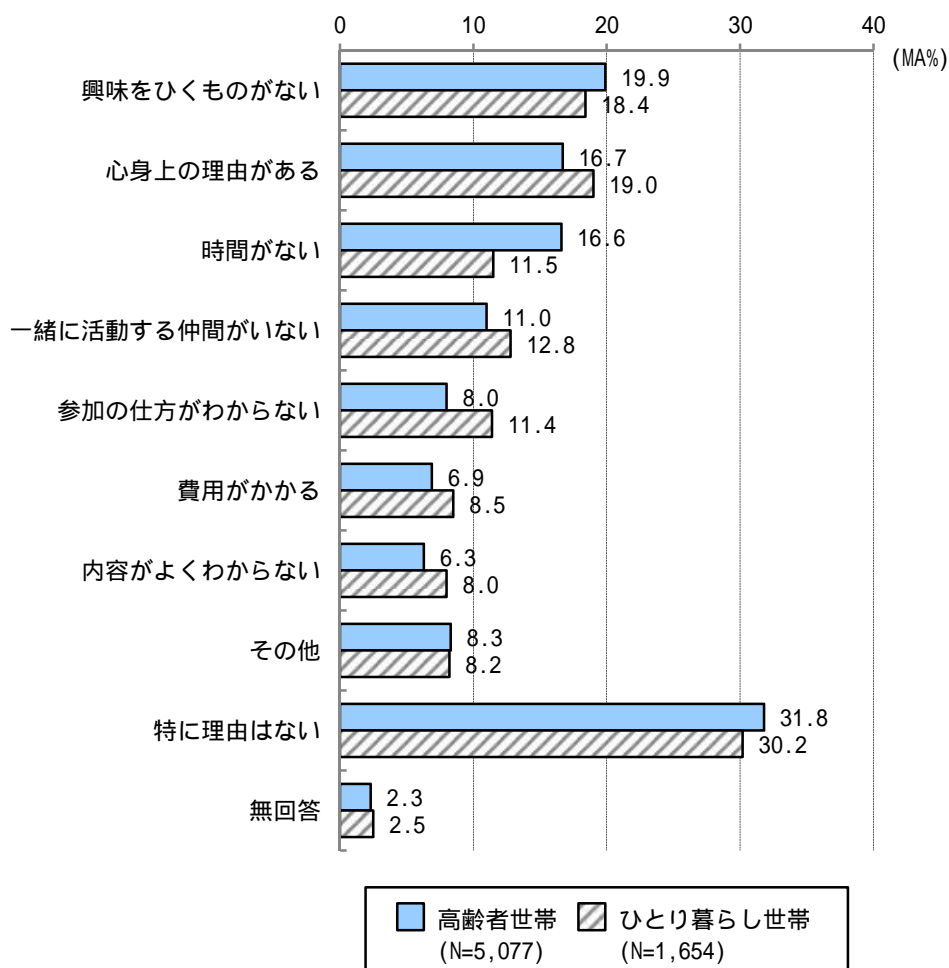
【図21-1 参加のきっかけ】



ひとり暮らし世帯の回答者で参加していると回答した人の「参加のきっかけ」については、「健康のため」が45.3%で最も多くなっている。「人との関わりを持ちたかった」が高齢者世帯全体より3.3ポイント高いが、「団体の中に自分の役割があるから」は4.4ポイント低くなっている。(図21-1)

問21-2 参加していない理由

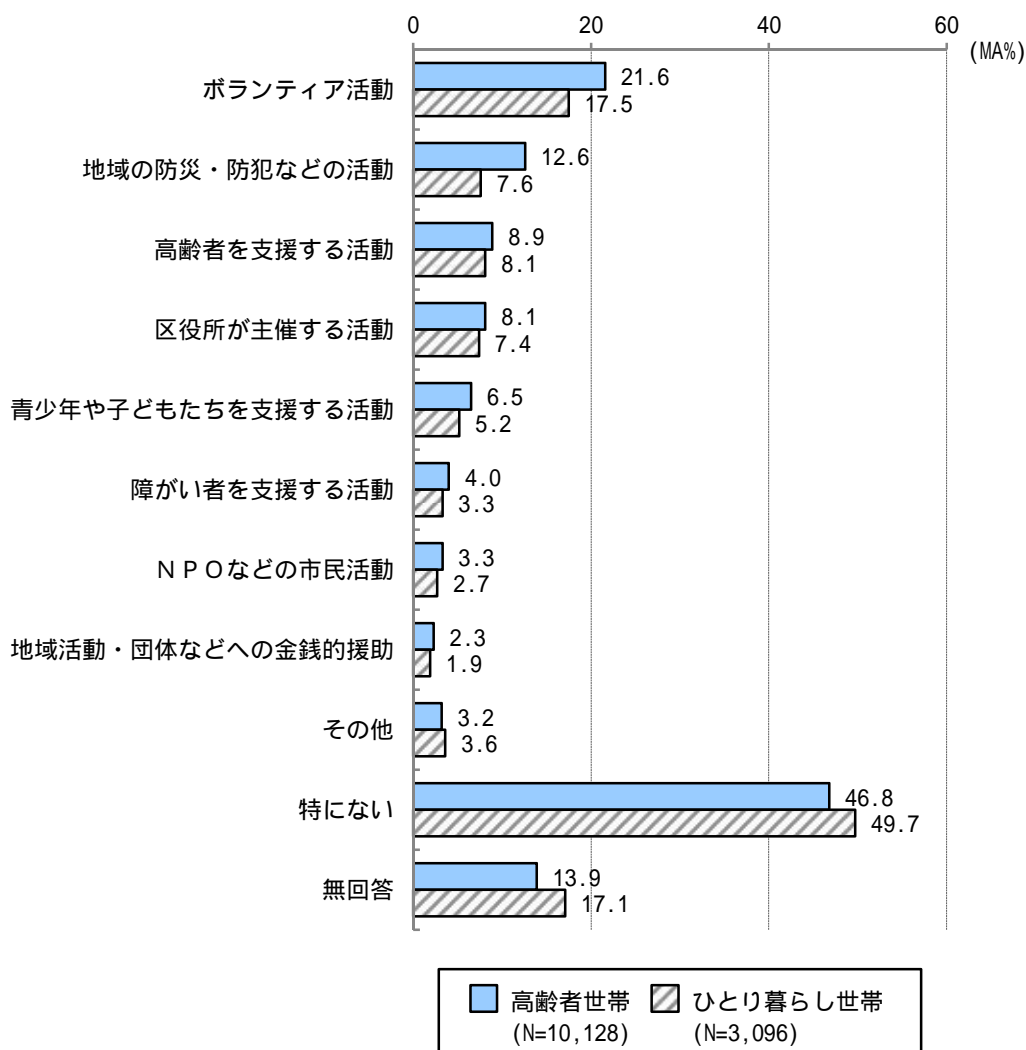
【図21-2 参加していない理由】



ひとり暮らし世帯の回答者で参加していないと回答した人の「参加していない理由」については、「特に理由はない」が30.2%で最も多い。次いで「心身上の理由がある」が19.0%となっており、高齢者世帯全体より2.3ポイント高くなっている。(図21-2)

問22 地域社会に貢献できると考える活動

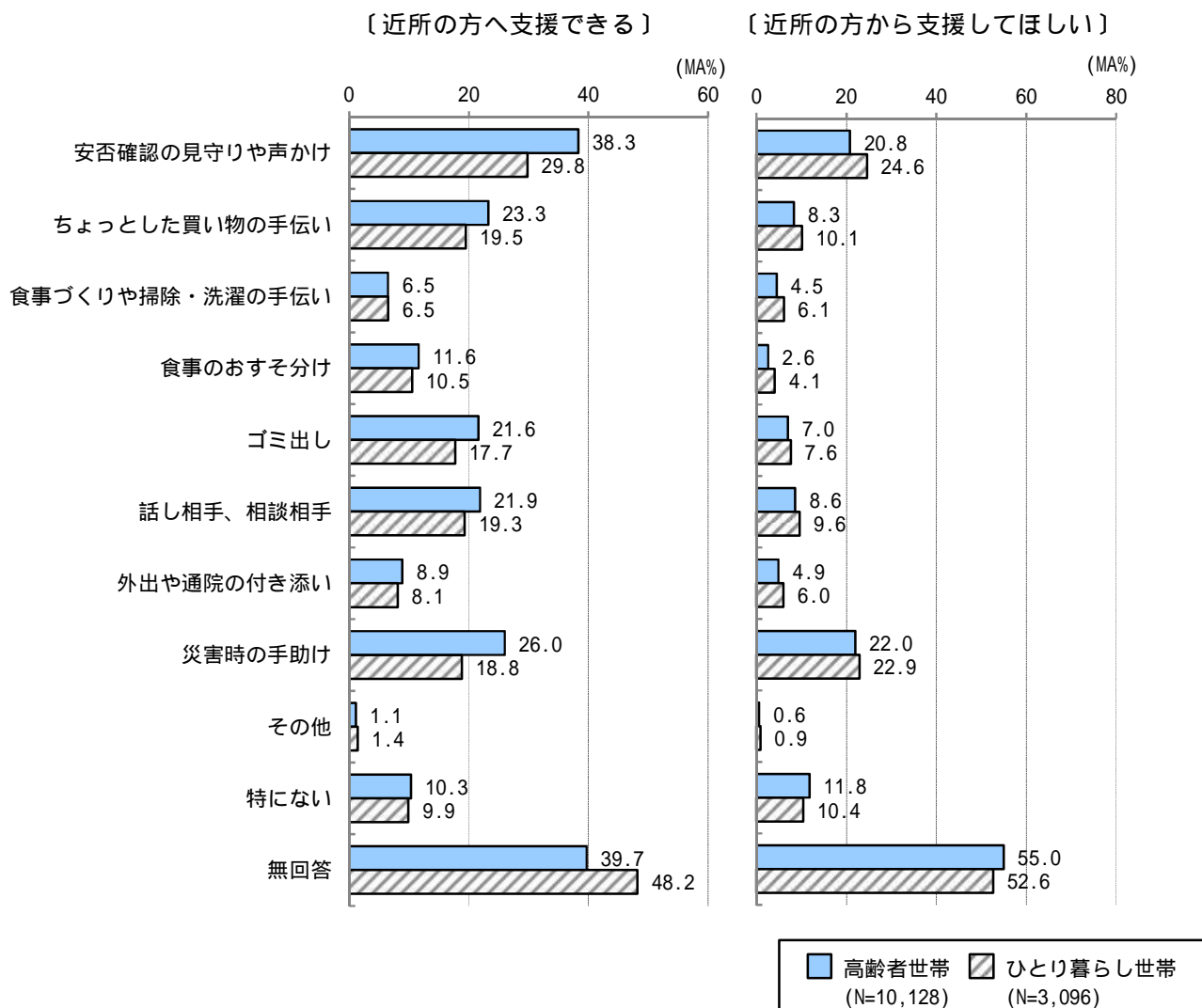
【図22 地域社会に貢献できると考える活動】



ひとり暮らし世帯の回答者の「地域社会に貢献できると考える活動」については、「ボランティア活動」が17.5%で最も多く、次いで「高齢者を支援する活動」が8.1%、「地域の防災・防犯などの活動」が7.6%と、いずれの項目も高齢者世帯全体より低く、一方で「特にない」が49.7%で最も多い。(図22)

問23 近隣への支援と近隣からの支援

【図23 近隣への支援と近隣からの支援】

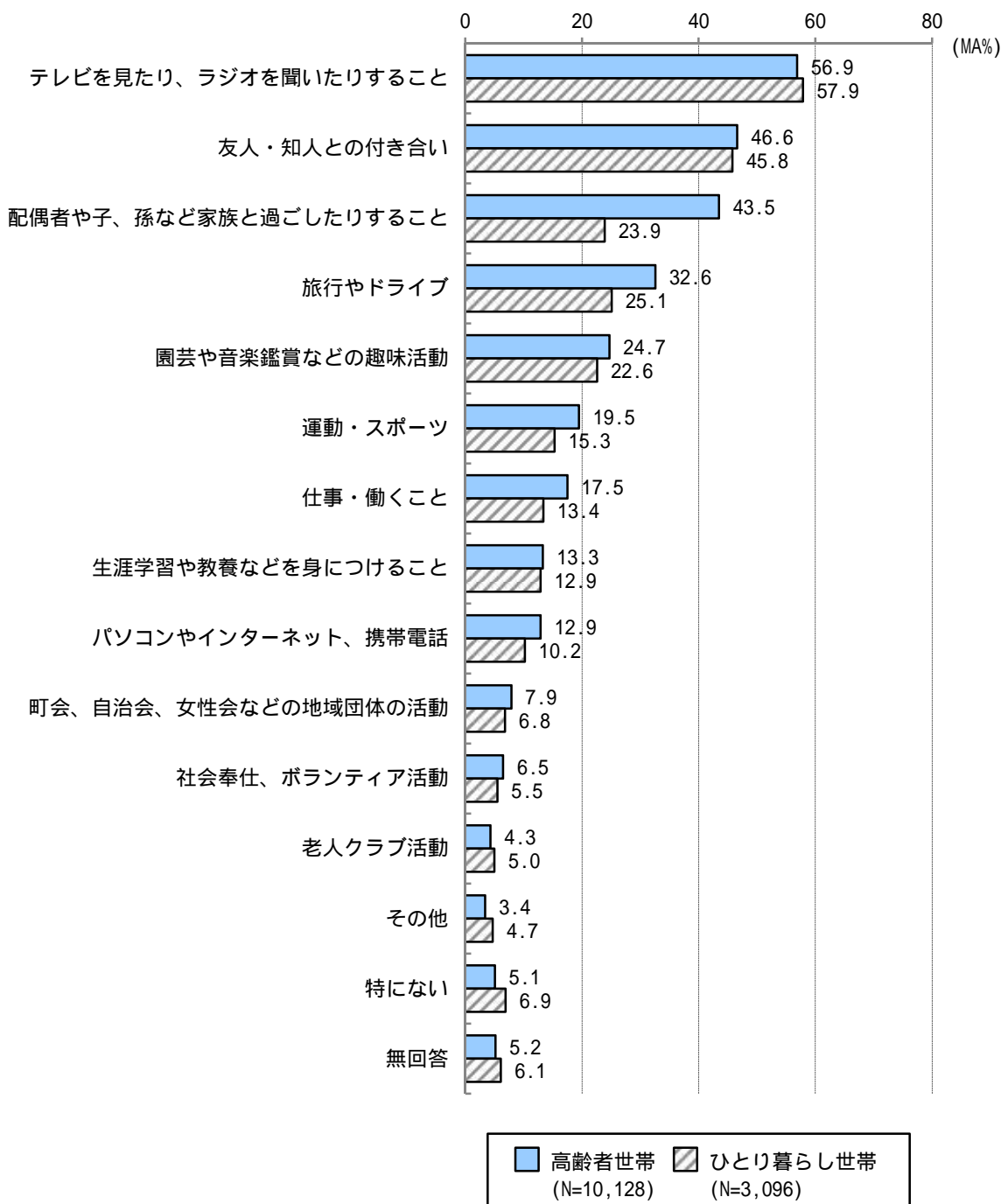


ひとり暮らし世帯の回答者の「近隣への支援と近隣からの支援」について、近所の方へ支援できることについては、高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、いずれもひとり暮らし世帯の回答者の方が回答割合は低くなっている。

近所の方から支援してほしいことでも高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、いずれもひとり暮らし世帯の回答者の方が回答割合が高くなっている。(図23)

問24 楽しみや生きがい

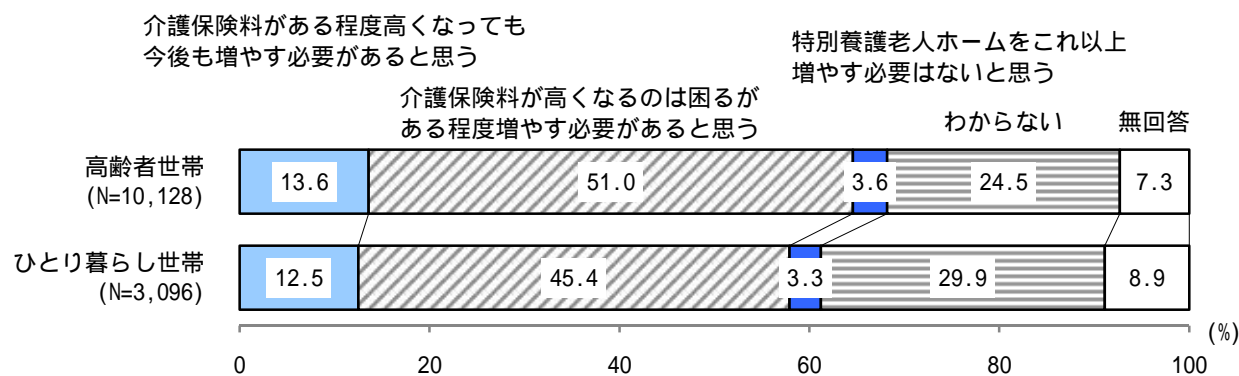
【図24 楽しみや生きがい】



ひとり暮らし世帯の回答者の「楽しみや生きがい」については、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」が57.9%で最も多く、次いで「友人・知人との付き合い」が45.8%であり、高齢者世帯全体と同程度の回答割合であるが、「配偶者や子、孫など家族と過ごしたりすること」が23.9%と、高齢者世帯全体と比べて約2割低くなっている。(図24)

問25 特別養護老人ホームの整備に対する考え

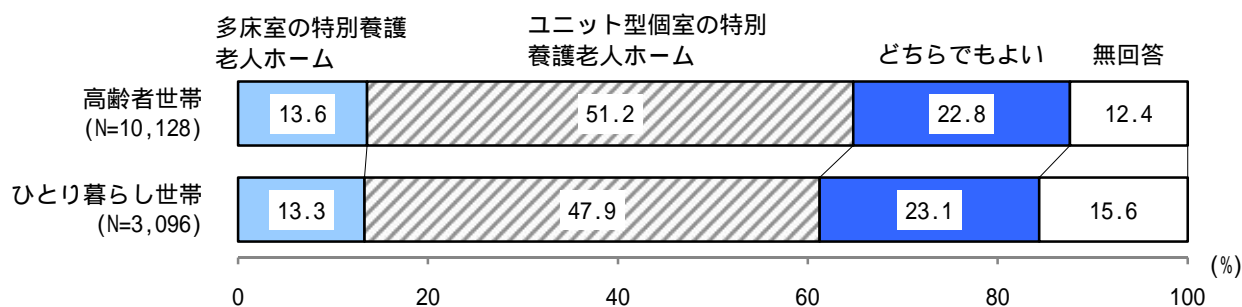
【図25 特別養護老人ホームの整備に対する考え】



ひとり暮らし世帯の回答者の「特別養護老人ホームの整備に対する考え」については、「介護保険料が高くなるのは困るがある程度増やす必要があると思う」が45.4%で最も多いが、高齢者世帯全体より5.6ポイント低くなっている。(図25)

問26 特別養護老人ホームの入所に関する意向

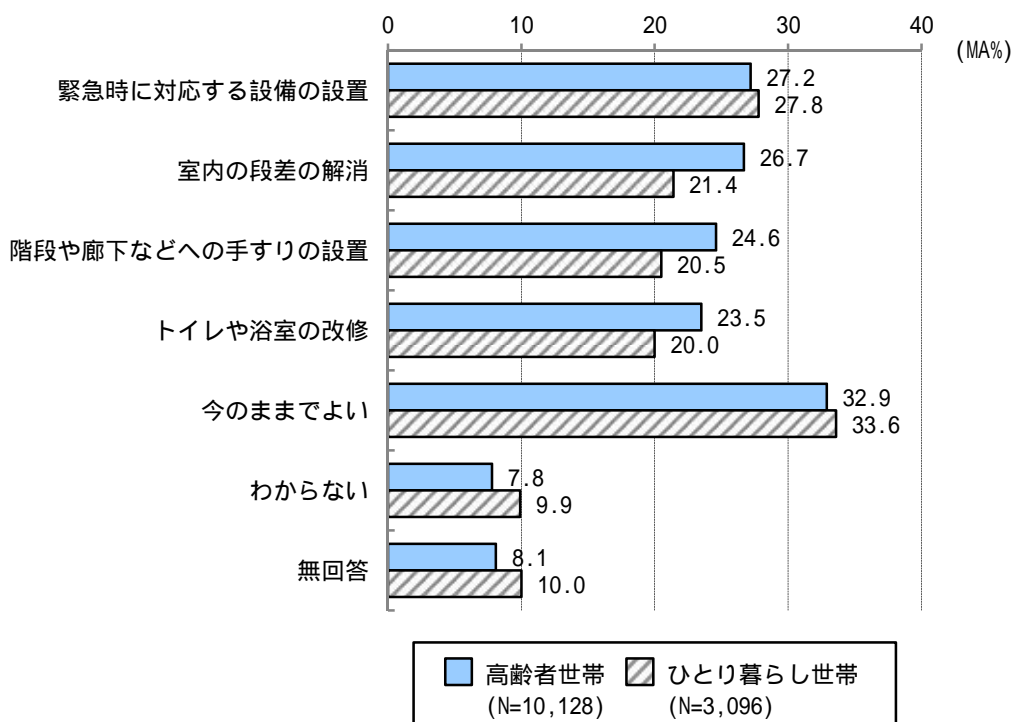
【図26 特別養護老人ホームの入所に関する意向】



ひとり暮らし世帯の回答者の「特別養護老人ホームの入所に関する意向」については、「ユニット型個室の特別養護老人ホーム」が47.9%で最も多く、次いで「どちらでもよい」が23.1%となっており、高齢者世帯全体と同様の傾向となっている。(図26)

問27 住まいへの希望

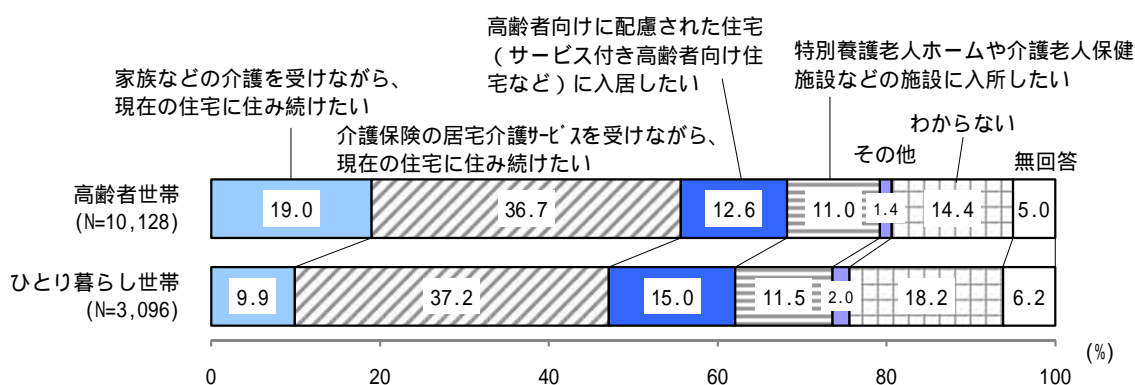
【図27 住まいへの希望】



ひとり暮らし世帯の回答者の「住まいへの希望」については、「今のままでよい」が33.6%で最も多く、次いで「緊急時に対応する設備の設置」が27.8%となっており、両者は高齢者世帯全体よりやや高いが、それ以外の項目では低くなっている。(図27)

問28 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方

【図28 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方】

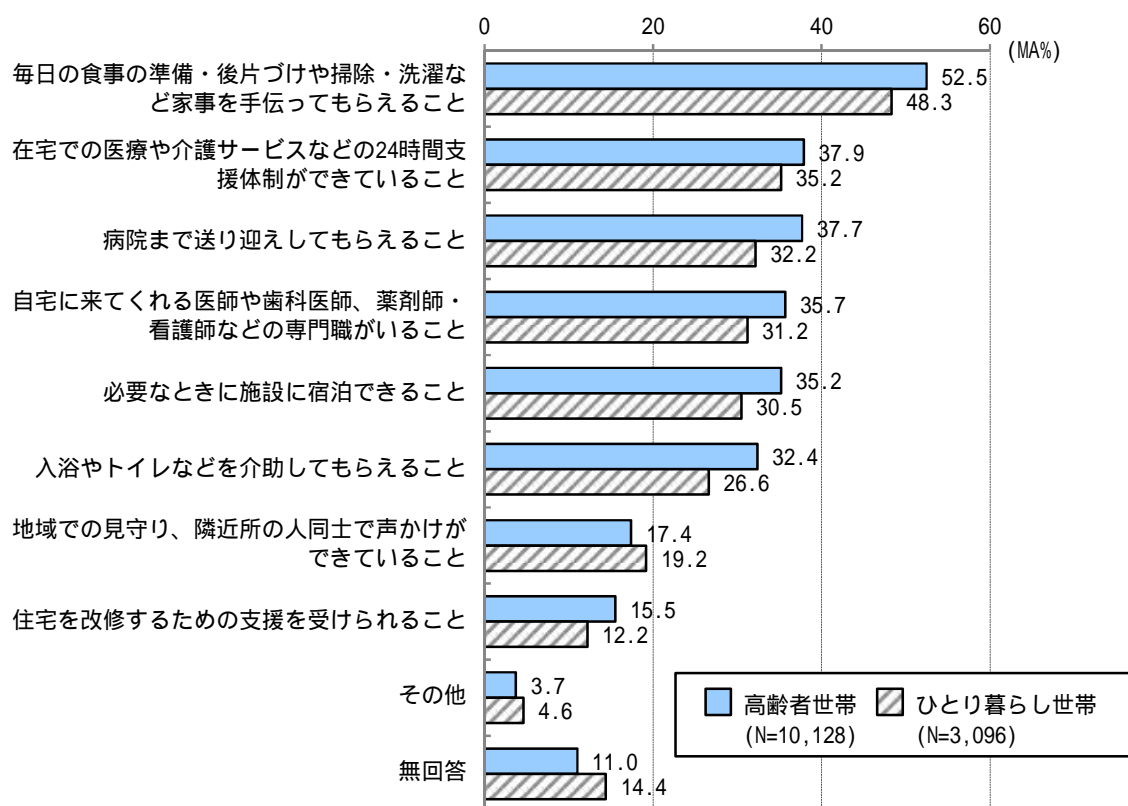


ひとり暮らし世帯の回答者の「介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方」については、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」は、高齢者世帯全体と比べて回答割合が1割程度低くなっている。

全体的には、高齢者世帯全体、ひとり暮らし世帯とも、在宅希望の回答割合が最も多い。(図28)

問29 在宅生活継続のために必要な支援

【図29 在宅生活継続のために必要な支援】



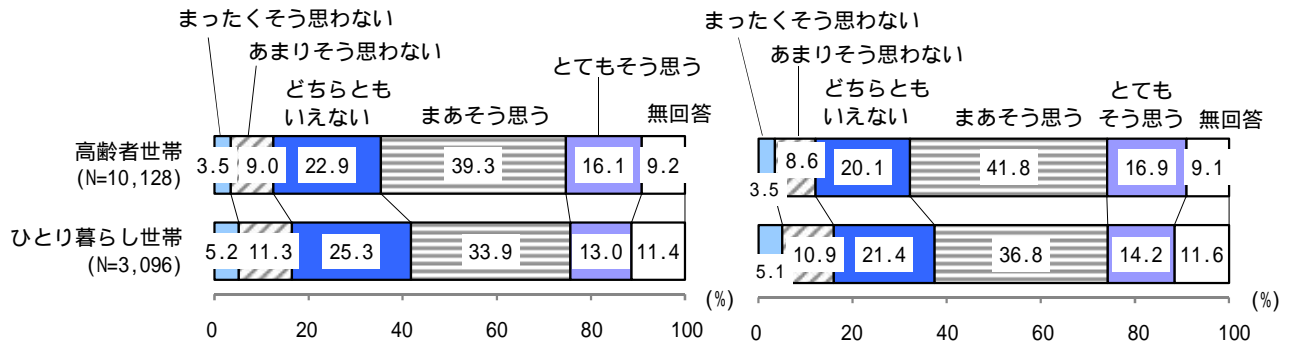
ひとり暮らし世帯の回答者の「在宅生活継続のために必要な支援」については、概ね高齢者世帯全体と同様の傾向となっているが、「地域での見守り、隣近所の人同士で声かけができていないこと」については、ひとり暮らし世帯の回答割合がやや高くなっている。(図29)

問30 生活の満足度

【図30 生活の満足度】

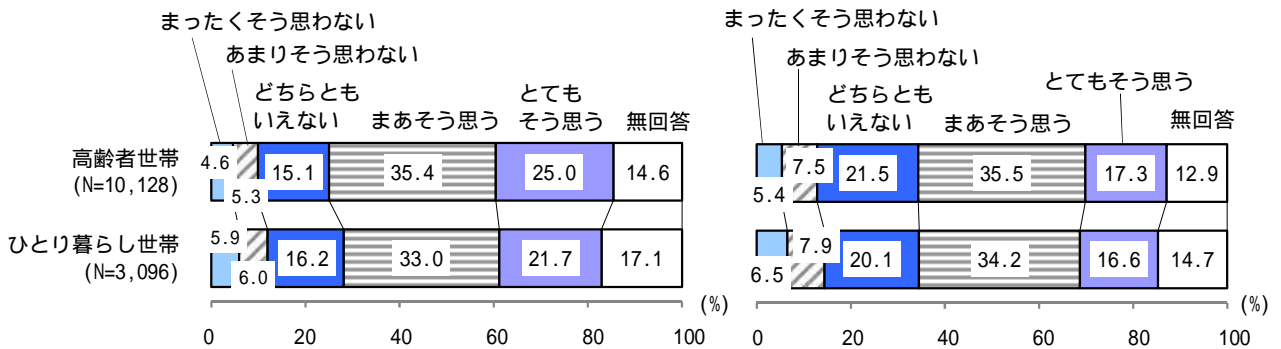
(1) 今の暮らしには張り合いがある

(2) 生活は充実している



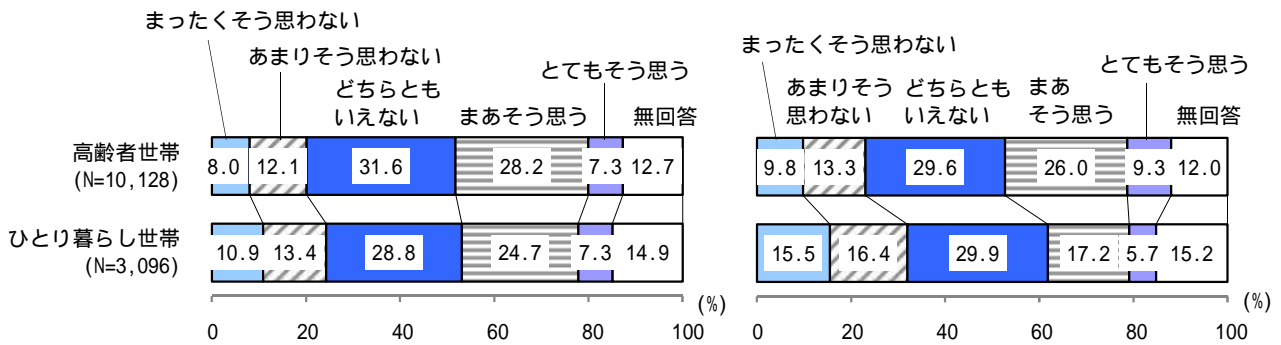
(3) 趣味をしている時間は楽しい

(4) 友人との関係に満足している

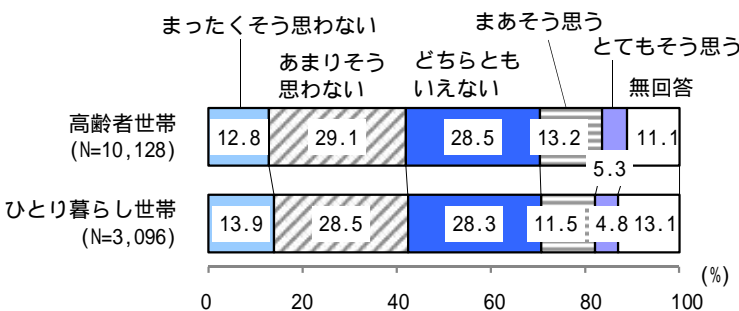


(5) 近所付き合いに満足している

(6) 自分は頼りにされていると思う



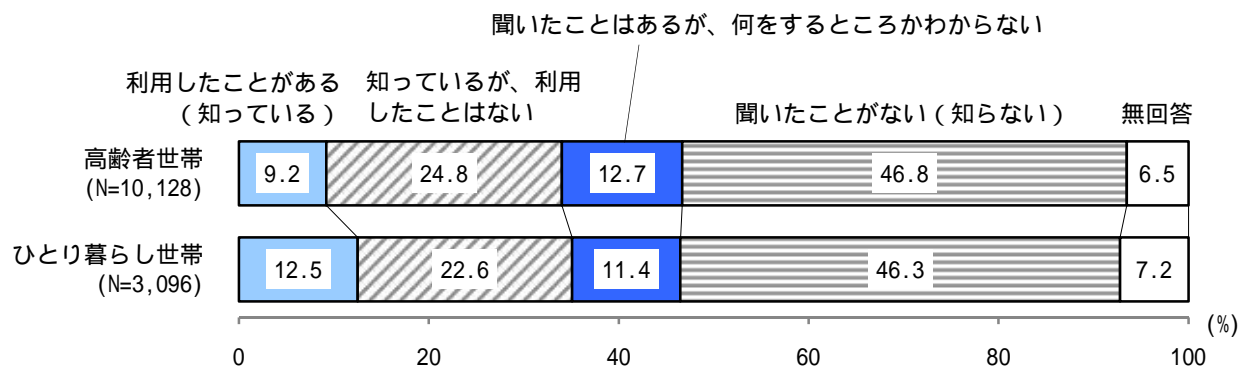
(7) 今の暮らしにはストレスが多い



ひとり暮らし世帯の回答者の「生活の満足度」については、「まあそう思う」と「とてもそう思う」をあわせた『そう思う』との回答は、いずれの項目も高齢者世帯全体より低くなっている。(図30)

問31 地域包括支援センター等の利用・認知状況

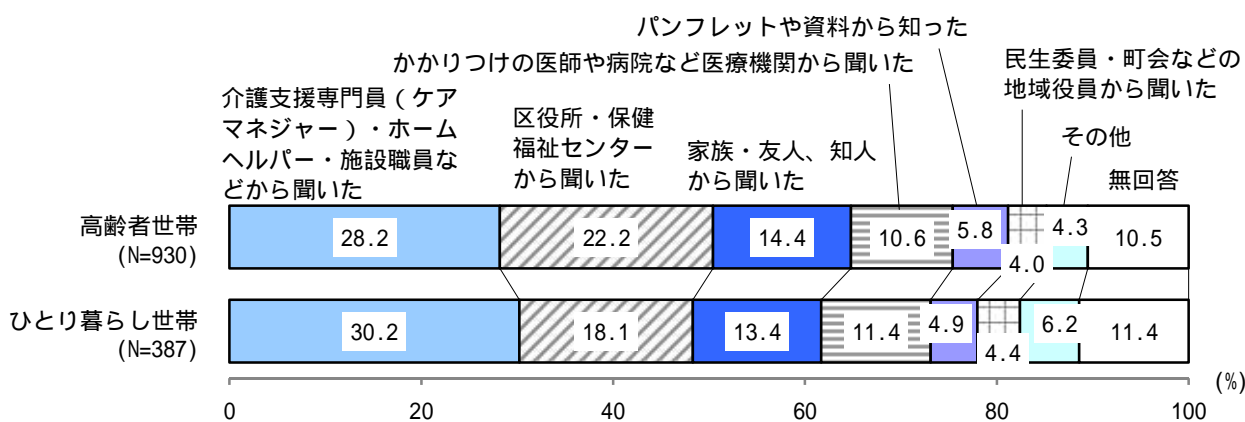
【図31 地域包括支援センター等の利用・認知状況】



ひとり暮らし世帯の回答者の「地域包括支援センター等の利用・認知状況」については、概ね高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、「利用したことがある (知っている)」が12.5%と高齢者世帯全体に比べて高く、『知っている』の回答割合も高齢者世帯全体よりやや高くなっている。(図31)

問31-1 地域包括支援センター等を知ったきっかけ

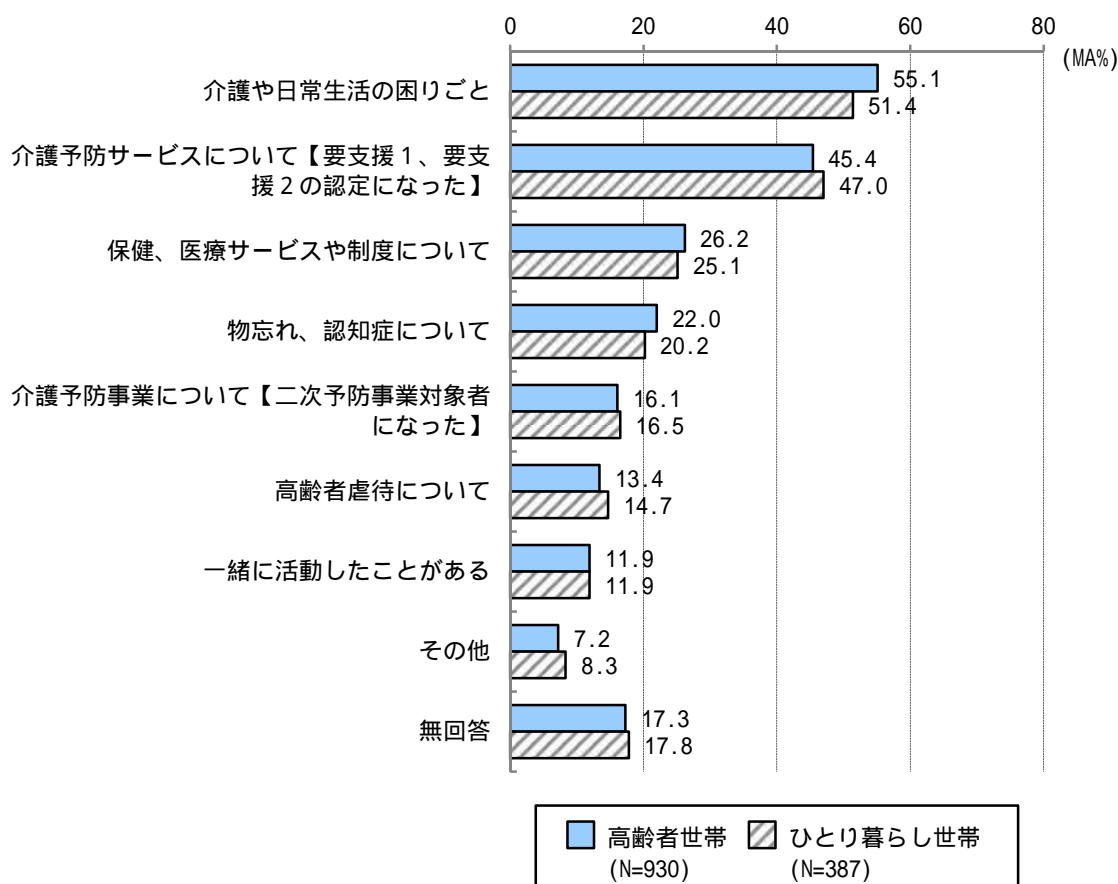
【図31-1 地域包括支援センター等を知ったきっかけ】



ひとり暮らし世帯の回答者の「地域包括支援センター等を知ったきっかけ」については、「介護支援専門員(ケアマネジャー)・ホームヘルパー・施設職員などから聞いた」が30.2%で最も多く、高齢者世帯全体よりやや高くなっている。(図31-1)

問31-2 地域包括支援センター等を利用された目的

【図31-2 地域包括支援センター等を利用された目的】

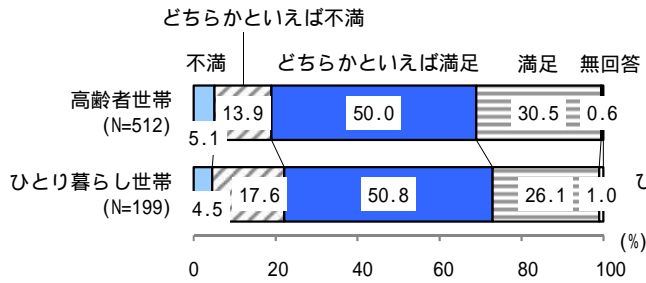


ひとり暮らし世帯の回答者の「地域包括支援センター等を利用された目的」については、「介護や日常生活の困りごと」が51.4%で最も多く、次いで「介護予防サービスについて」が47.0%となっており、高齢者世帯全体と同様の傾向となっている。(図31-2)

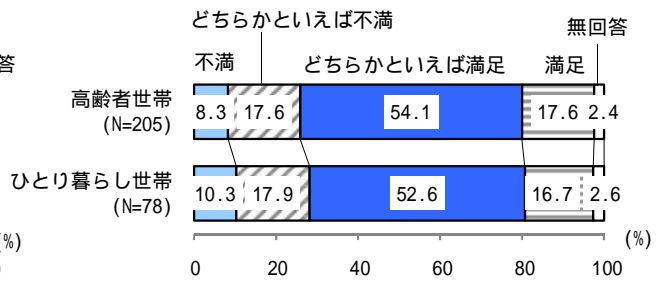
問31-3 地域包括支援センター等を利用した際の満足度

【図31-3 地域包括支援センター等を利用した際の満足度】

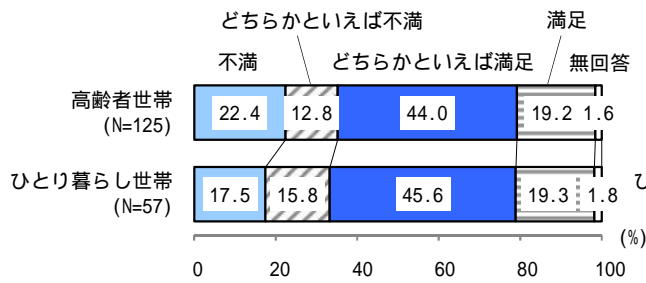
(1) 介護や日常生活の困りごと



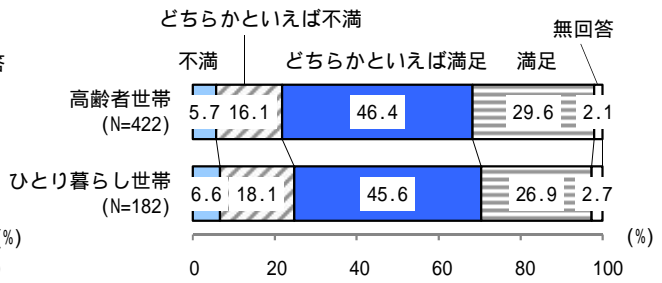
(2) 物忘れ、認知症について



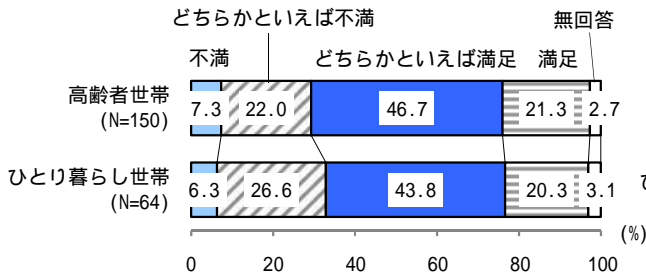
(3) 高齢者虐待について



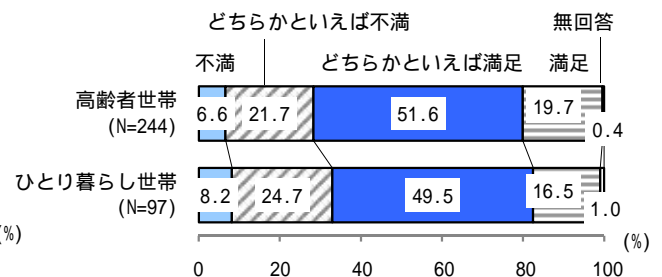
(4) 介護予防サービスについて



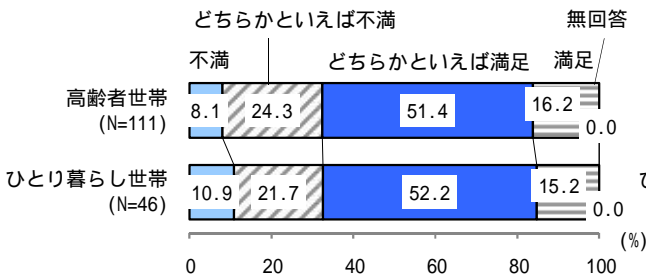
(5) 介護予防事業について



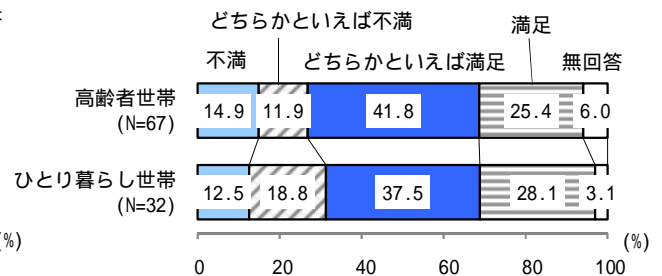
(6) 保健、医療サービスや制度について



(7) 一緒に活動したことがある



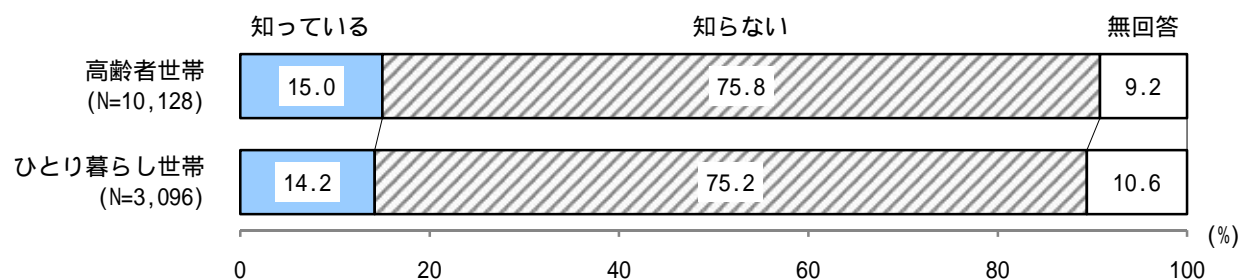
(8) その他



ひとり暮らし世帯の回答者の「地域包括支援センター等を利用した際の満足度」については、高齢者世帯全体と同様の傾向であり、『満足度』（「どちらかといえば満足」と「満足」をあわせた割合）は“(3) 高齢者虐待について”のみ高齢者世帯全体よりやや高くなっている。(図31-3)

問32 高齢者虐待の通報先・相談先の認知度

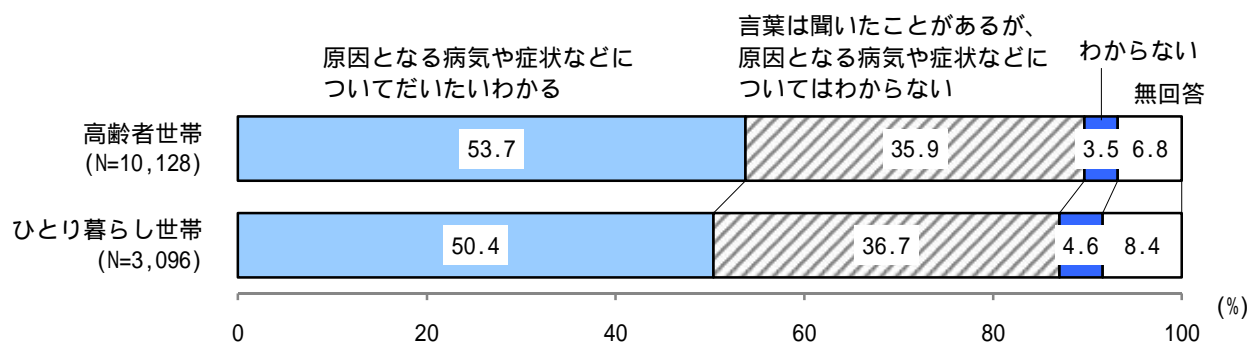
【図32 高齢者虐待の通報先・相談先の認知度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「高齢者虐待の通報先・相談先の認知度」については、「知っている」が14.2%で、高齢者世帯全体よりやや低くなっている。(図32)

問33 認知症という病気の認知度

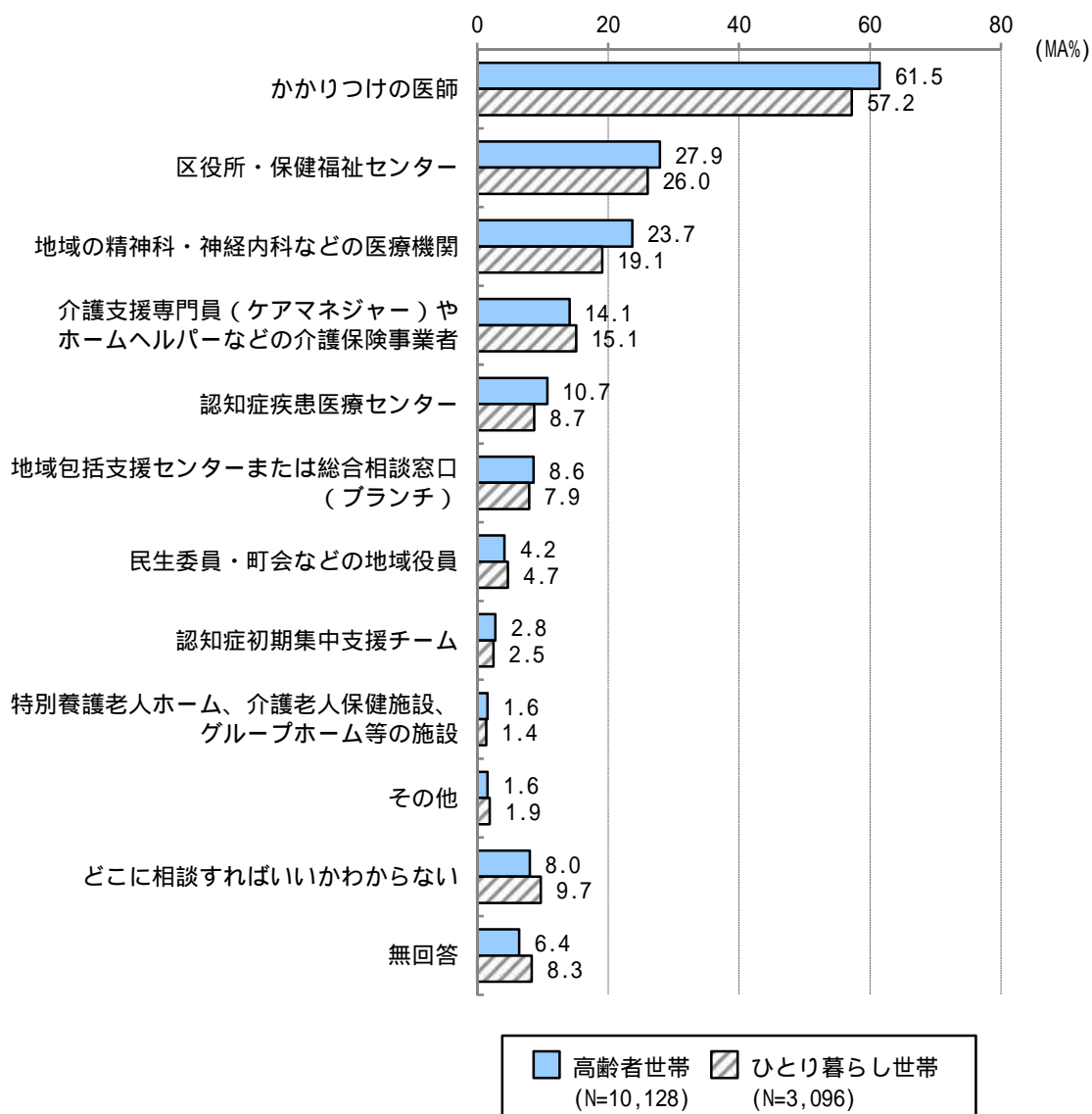
【図33 認知症という病気の認知度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「認知症という病気の認知度」については、「原因となる病気や症状などについてだいたいわかる」が50.4%で最も多いが、高齢者世帯全体より3.3ポイント低くなっている。(図33)

問34 認知症を不安に感じるときの相談先

【図34 認知症を不安に感じるときの相談先】



ひとり暮らし世帯の回答者の「認知症を不安に感じるときの相談先」については、「かかりつけの医師」が57.2%で最も多いが、高齢者世帯全体より4.3ポイント低く、「地域の精神科・神経内科などの医療機関」も4.6ポイント低くなっている。(図34)